

鶴田地区 まちづくり交付金 事後評価

平成20年11月

宇都宮市都市開発部西部区画整理事業課

目次

●都市再生整備計画

- ・鶴田地区の位置
- ・鶴田地区の課題
- ・まちづくりの目標

●まちづくり交付金事後評価シート(評価結果のまとめ)

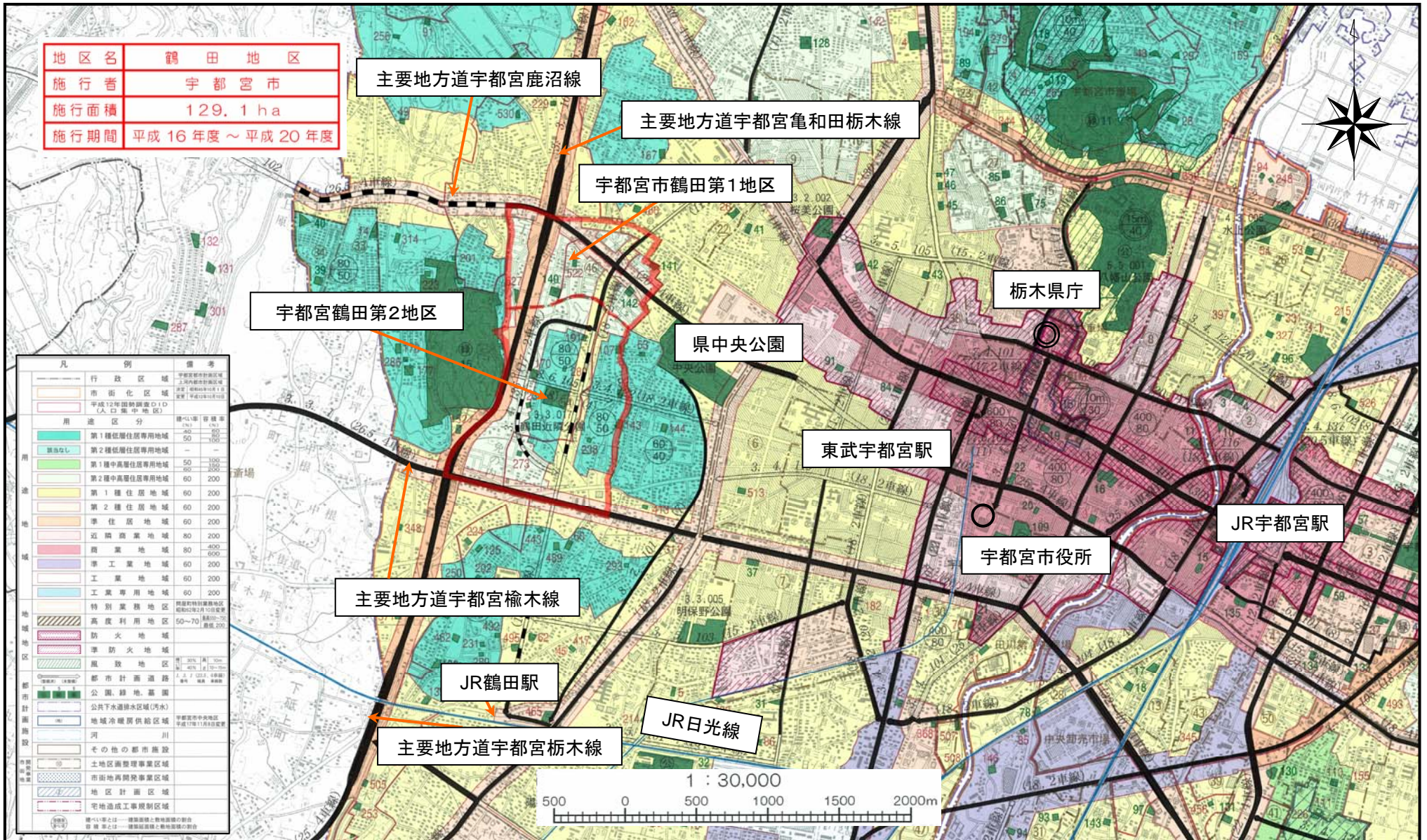
- ・事業の実施状況(基幹事業・提案事業)
- ・都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況
- ・その他の数値目標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況
- ・定性的な効果発現状況
- ・実施過程の評価
- ・事後評価原案の公表結果(鶴田地区)

●まちの課題の変化

●今後のまちづくりの方策(改善策)

●フォローアップの計画

鶴田地区の位置

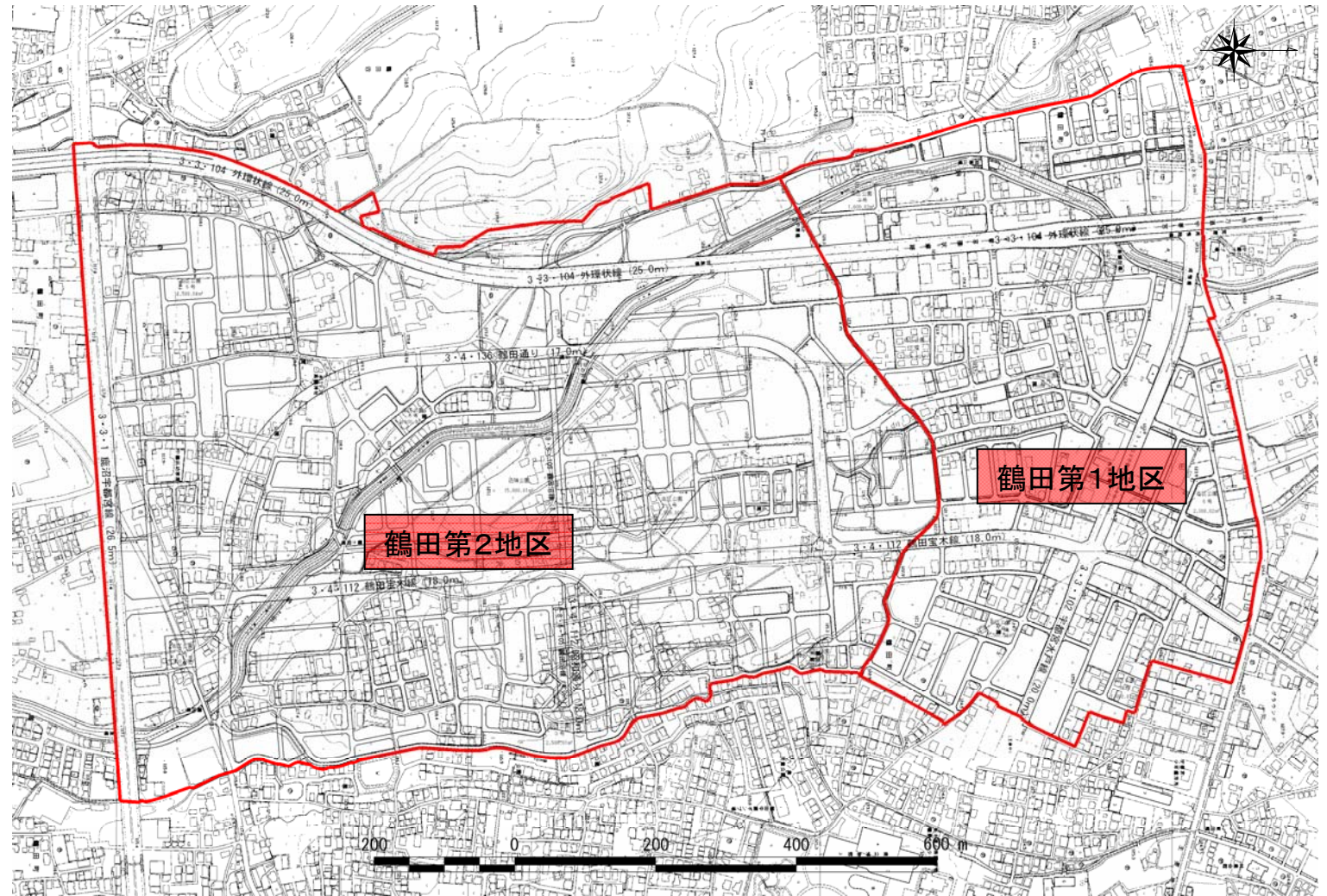


鶴田地区の課題

・都市計画道路、区画道路及び公園の整備を進捗させ、公共施設の未整備状況を解消し、防災性の向上及び交通安全の確保を図る必要がある。



・療養拠点施設開設にあわせ、施設周辺の道路網を整備する必要がある。



まちづくりの目標

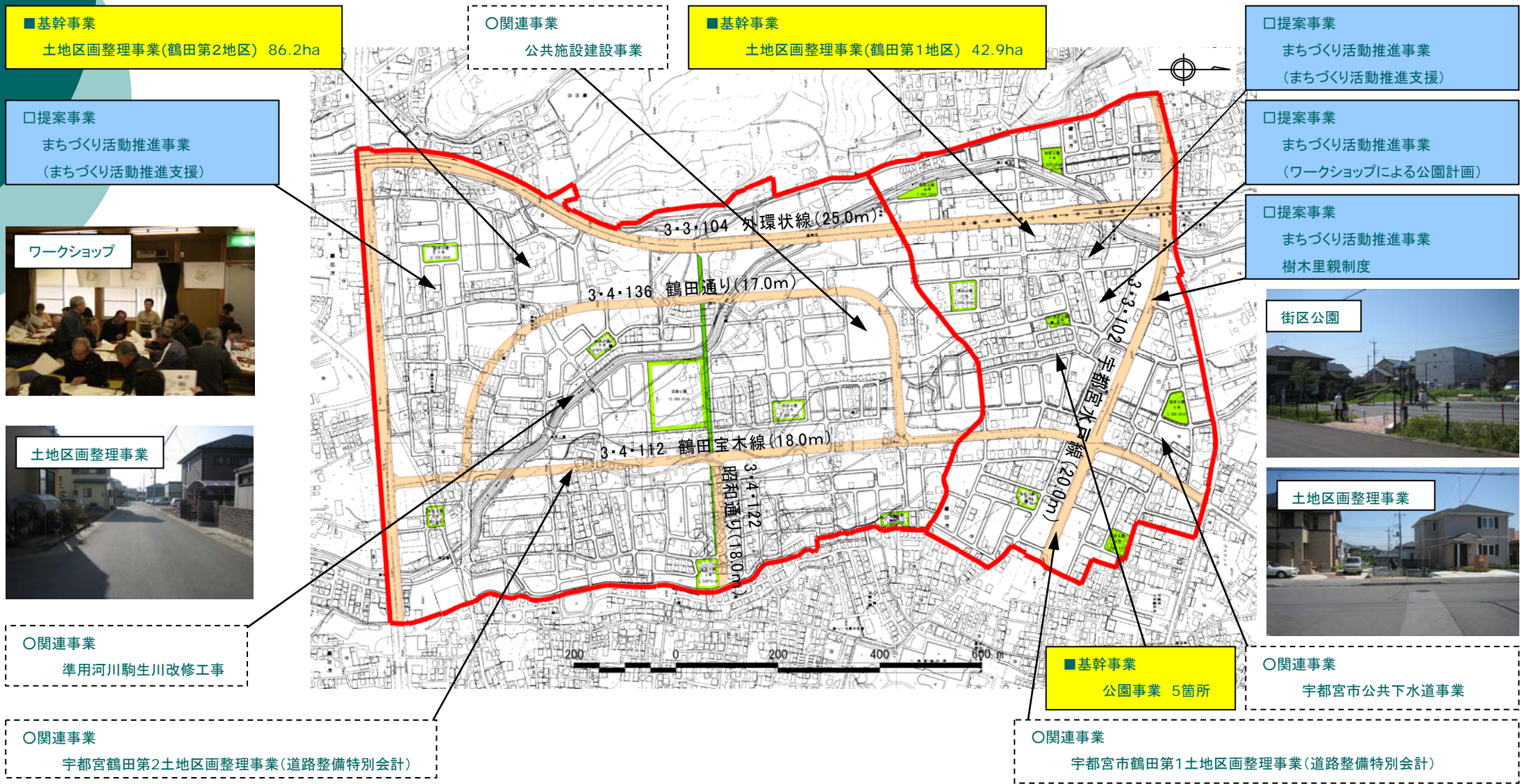
総合的、一体的に面整備を推進することで、
防災の向上、生活環境の改善、交通安全の確保による
良好な居住環境の市街地の形成

- ・目標1: 市街地として十分な公共施設を整備することで、防災機能を充実させる。
 - ・目標2: 公園施設整備により人間にも自然にも優しい調和のとれたまちづくりを推進する。
 - ・目標3: 公共施設の早期整備により、療育の総合的な支援拠点施設整備を支援し生活環境を整える。
-

様式2-1 評価結果のまとめ

□ 地区名	鶴田地区
□ 面積	129.1ha
□ 交付期間	H16～H20
□ 事後評価実施時期	H20年度
□ 交付対象事業費	3,013百万円
□ 国費率	40%

様式2-1 1) 事業の実施状況



狭隘道路の改善

整理前



整理後



療育施設の整備



公園の整備

整理前



整理後



事業の実施状況（提案事業）

- ・まちづくり活動推進支援
 - 掲示板、建植サイン作成、パンフレット印刷
- ・ワークショップによる公園整備計画
 - ワークショップについてのパンフレット作成
- ・樹木の里親制度
 - 里親のネームプレート作成



掲示板



建植サイン



ワークショップ

様式2-1 2)都市再生整備計画に記載した目標を 定量化する指標の達成状況

都市再生整備計画に記載した指標

指標1: 消防困難地域の解消

指標2: 公園まで歩いて利用できる地域面積の向上

指標3: 福祉療育施設の利用者数

指標1：消防困難地域の解消

計画：従前値（H5）94.7ha → 目標値（H20）15.4ha

評価値【見込み値】（H20）14.9ha

総合所見：

- ：鶴田第1地区及び鶴田第2地区の土地区画整理事業により道路整備が進捗し、消火栓の新設箇所が増加した結果、消防困難地域が縮小し、防災性が向上した。
-

指標2: 公園まで歩いて利用できる地域面積の向上

計画: 従前値(H5) 34.3ha → 目標値(H20) 44.1ha

評価値【見込み値】(H20) 41.1ha

総合所見:

- : 計画されている街区公園が、現在、土地区画整理事業の仮設住宅用地として利用されており、一部建物移転が延滞したことで、街区公園1箇所が整備できず、評価値が41.1haとなり、目標値は未達成となる見込みである。しかし、計画していた街区公園6箇所のうち5箇所は整備が完了するため、公園まで歩いて利用出来る地域面積は改善しており、一定の効果発現は見られたと考えられる。
-

指標3: 福祉療養施設の利用者数

計画: 従前値(H5) 0人 → 目標値(H20) 250人

評価値【見込み値】(H20) 280人

総合所見:

- : 鶴田第1地区及び鶴田第2地区の土地区画整理事業により周辺道路網が整備された結果、施設利用の利便性が向上した。
-

様式2-1 3) その他目標(当初設定した数値目標以外の指標) による効果発現の計測

その他の数値指標1:

公園までの徒歩所要時間の短縮

その他の数値の指標1

: 公園までの徒歩所要時間の短縮

計画: 従前値(H5) 16分

→ 評価値【見込み値】(H20) 6分

総合所見:

- : 鶴田第1土地区画整理事業による道路網整備と公園事業による街区公園整備の相乗効果により、街区公園利用の利便性が向上した。
-

様式2-1 4) 定性的な効果発現状況

- ・公園整備計画を策定するにあたり、市民と協働でワークショップを行なったことで、地域住民のニーズを公園整備に反映することができ、公園に対する市民の愛着が深まった。また、幅広い年齢層に利用され、地域コミュニティの形成につながった。
 - ・地区内においては、平成14年に西消防署が新設されたが、当時は狭隘道路や行き止り道路が多く存在していた。しかし、当事業で地区内の道路が整備されたことで、地域住民の方々の消防・救急に対する安心感が高まってきている。
 - ・土地区画整理事業による建物移転を契機に、二世帯などの同居世帯が増えていることで、家族内などに世代間の新たな交流が形成されている。
-

様式2-1 5)実施過程の評価

(1)住民参加プロセス

実施内容:ワークショップによる公園整備計画の策定

実施状況:予定どおり実施した。

今後の対応方針等:ワークショップ参加者の方々に、公園愛護会設立に向けて働きかけていく。

(2)持続的なまちづくり

実施内容:樹木の里親制度の導入

実施状況:予定どおり実施した。

今後の対応方針等:自治会等の既存組織を通して、地域住民の方々に、樹木の里親制度への登録を働きかけていく。

事後評価原案の公表結果（鶴田地区）

- ・公表期間 10/1（水）～10/15（水）の2週間
 - ・公表方法 市のホームページ
西部区画整理事業課の窓口
 - ・閲覧者数（窓口） 0件
 - ・意見書提出数 1件
-

まちづくりの目標

総合的、一体的に面整備を推進することで、
防災の向上、生活環境の改善、交通安全の確保による
良好な居住環境の市街地の形成

- ・目標1: 市街地として十分な公共施設を整備することで、防災機能を充実させる。
 - ・目標2: 公園施設整備により人間にも自然にも優しい調和のとれたまちづくりを推進する。
 - ・目標3: 公共施設の早期整備により、療育の総合的な支援拠点施設整備を支援し生活環境を整える。
-

目標を定量化する指標

目標を定量化する指標	単位	従前値		目標値		評価値	
		年度	年度	年度	年度		
消防困難地域の解消	ha	94.7	H5	15.4	H20	14.9	H20
公園まで歩いて利用できる地域面積の向上	ha	34.3	H5	44.1	H20	41.1	H20
福祉療育施設の利用者数	人/日	0	H5	250	H20	280	H20

まちの課題の変化

- 土地区画整理事業により狭隘道路や行き止まり道路が解消されると共に、歩行者空間が確保されたことで、生活道路の安全性が改善された。また、道路整備と平行し、消火栓が新設されたことで、地域の防災性が向上した。
 - 公園事業により街区公園が新たに整備されたことで、従来よりも公園までの徒歩所要時間が短縮され、公園利用の利便性が向上した。
 - 土地区画整理事業により福祉療育施設開設に合わせて周辺道路網が整備されたことで、施設の利便性が向上し、施設利用者が増加した。
 - 以上のように、今回まちづくり交付金事業を導入した結果、一定の成果をあげることができた。しかし、鶴田第2土地区画整理事業の事業期間は平成28年度までであり、地区内には未整備箇所がまだ散在している状況である。
-

今後のまちづくりの方策

■コミュニティづくり及び住民活動の支援

- ・公園計画ワークショップにより育まれた公園への愛着を継続させるため、公園愛護会の設立や樹木の里親制度などへの住民参加の活動を今後も支援する。
- ・地域住民の方々の相互交流を促進し、魅力あるまちづくりを進めるためにコミュニティづくりを支援する。

■継続的なまちづくり

- ・本地区は、平成16年度～平成20年度にまちづくり交付金事業(第一期)を導入し、地区内の課題解決に対し一定の成果をあげることができた。今後も、鶴田第2土地区画整理事業が継続するため、今回の成果を踏まえ、まちづくり交付金事業(第二期計画)に繋げたい。

■達成されなかった指標の改善策

- ・未整備の街区公園は、まちづくり交付金事業(第二期計画)で平成22年度に整備する計画である。なお、まちづくり交付金事業(第二期計画)においては、事業期間の中間年度にモニタリングを実施することで、目標指標の達成状況を検証すると共に、効果的な事業執行を図りたい。
-

フォローアップの計画

指標1 消防困難地域の解消

フォローアップ予定時期 平成21年5月

指標2 公園まで歩いて利用できる地域面積の向上

フォローアップ予定時期 平成21年5月

指標3 福祉療養施設の利用者数

フォローアップ予定時期 平成22年4月

その他の数値指標 公園までの徒歩所要時間の短縮

フォローアップ予定時期 平成21年5月
